

陽子線による乳がん治療の臨床試験について

- ・ 全国で初めて陽子線による乳がん治療の臨床試験を開始
- ・ 段階的に照射する線量を増やし、副作用及び治療効果を経過観察し、適正線量を決定（第Ⅰ相試験）
- ・ 適正線量による治療を実施し、治療の安全性および有効性についての評価を行う（第Ⅱ相試験）

<臨床試験の概要>

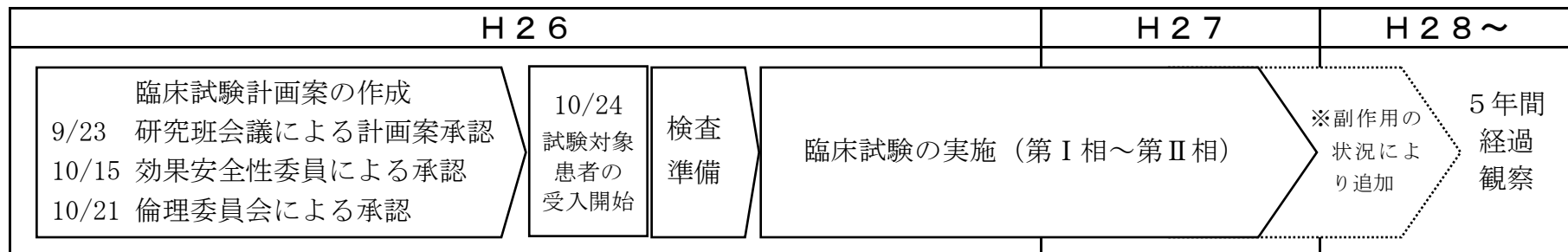
○対象患者 治療効果・安全性の検証が容易であり、治療効果が期待できる症例に限定

主な条件	・ 初期（Ⅰ期）2 cm以内 ・ 60 歳以上 ・ リンパ節転移がないこと ・ 手術困難または手術拒否 ・ 手術・抗がん剤の治療歴なし
------	---

○方 法 レベル1～3 と段階的に線量を上げ、10 回照射（2 週間）、照射後 90 日で治療効果を評価
照射後 6 か月間の急性の副作用（皮膚炎、肺炎、悪心、嘔吐など）を観察
（レベル1…60GyE/10 回、レベル2…66GyE/10 回、レベル3…72GyE/10 回）

○予 定 数 1 レベルにつき最少 3 例ずつ照射し、適正線量を決定（最大 18 症例）

○適正線量決定後 対象患者の条件は同じで、適正線量による治療を 20 症例以上実施
治療終了後 5 年間経過観察し、がんの制御率や照射部への影響など治療の安全性および有効性を評価



【問い合わせ先】福井県立病院 陽子線がん治療センター
 相談専用ダイヤル 0776-57-2981
 8:30~17:00（土日祝祭日は除く）

■報道関係者様への説明会を開催します

日 時：10月24日（金）17:30~18:30

場 所：県立病院陽子線がん治療センター 3階 セミナー室

説明者：山本和高 陽子線がん治療センター長

問合先：0776-57-2980